

2012年1月27日



「学生会員に対するアンケート」

中国地方BBS連盟事務局長 小山 貴弘
日本BBS連盟常務理事 橋本 万由子

学生会員が社会人になって続けている会員は中国地方において、わかる範囲では14名。
(内、地方連盟役員が5名、地連役員を兼務している人を除いた県連盟役員が4名。また、地方を越えて会員を続けている人が2名。) 2011年4月1日現在の中国地方全体会員数が350名(法務省保護局調べ)なので、4.0%と極めて少ない。全国的に見ても少ないのではないかと推察する。そこで、中国地方を1つのサンプルとして、学生のみ地区会、サークルまたほとんどが学生によって構成されている地区会(以下、会という。)を対象に、2011年11月～2012年1月にかけてアンケートを行った。アンケート内容については(別紙)の通り。

対象にした会は以下の通りで、222名中122名(回答率55.0%)にご協力頂いた。

【鳥取県】

○鳥取大学BBS会(3名中0名・0%)

【島根県】

○浜田地区BBS会・島根県立大学BBSサークル(20名中15名・75.0%)

○松江地区BBS会(島根大学)(30名中22名・73.3%)

【岡山県】

○岡山地区BBS会・川崎医療福祉大学BBSサークル(18名中12名・66.7%)

○美作大学BBS会(16名中11名・68.8%)

【広島県】

○東広島地区BBS会(広島大学)(33名中15名・45.5%)

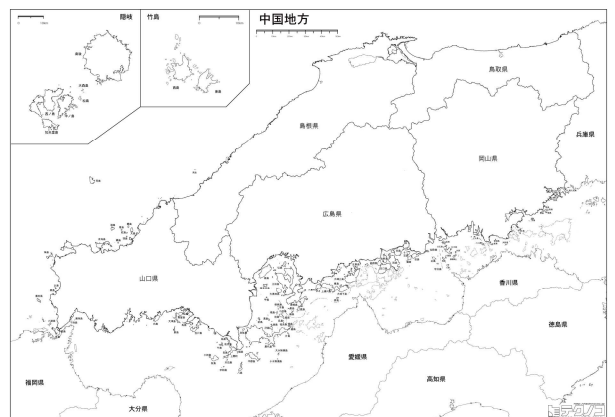
【山口県】

○宇部BBS会(宇部フロンティア大学)(19名中7名・36.8%)

○山口BBS会(山口大学、山口県立大学)(83名中40名・48.2%)

このアンケートの第一の目的は、社会人になっても会員を続ける意思を持っている人がどのくらいいるかである。そしてこのアンケートにより、学生会員が考える機会になればと思っている。

アンケートの質問内容、また分析については複数の視点から見たかったので、私の友人である橋本万由子さんにご協力頂いた。



【結果】

○「社会人になって、BBS活動を続けようと思うか」について

各会によって、結果が異なっている。

会単位で見ると、約2～3割「はい」と回答したところが多いが、5%未満のところもあれば、7割を超えるところもある。

ほとんどの会において、1年未満の会員より、1年以上の会員の方が、「はい」の割合が高い。

「住所変更後の入会が億劫」について、1年未満の会員は0%であったが、1年以上の会員は何人かが選択している。

「はい」以外を答えた人の理由は様々で、それについてはグラフをご覧頂きたい。

○「BBS活動が、社会人になって役立つと思うか」について

「いいえ」と答えた人は極めて少なく、「はい」の傾向はどの会も同じ程度だ。

○「BBS運動を説明できるか」について

当然であるが、1年未満の会員より1年以上の会員の方が「はい」の割合が多い。

「はい」が100%のところもある。

○「会員の男女比」について

ほとんどの会において、女性が多い。

○あなたにとって心に残る活動はありましたか？

《1年未満の会員》

- ・なし（12名）
- ・無回答（7名）
- ・児童館でのレクリエーション活動（ふれい☆メイト）（6名）
- ・児童自立支援施設での活動（学習支援，レク，施設行事等）（4名）
- ・小学生を対象としたキャンプ（サマースクール）（4名）
- ・ともだち活動（2名）
- ・第11回こども・みらい・サポート事業（2011年7月、山口県宇部市にて開催）（2名）
- ・中国地方BBS会員研修会（2名）
- ・学校へ行きにくい子どもたち（市青少年支援センター）への自立支援活動
（学習支援他）（2名）
- ・子どもたちを対象にした工作活動（1名）
- ・児童養護施設での学習支援（1名）
- ・わからない（1名）

○あなたにとって心に残る活動はありましたか？

《1年以上の会員》

- ・社会参加活動（12名）
- ・中国地方BBS大会（10名）
- ・児童館でのレクリエーション活動（ふれい☆メイト）（10名）
- ・児童自立支援施設での活動（学習支援，レク，施設行事等）（9名）
- ・無回答（9名）
- ・第11回こども・みらい・サポート事業（7名）
- ・中国地方BBS会員研修会（7名）
- ・通学合宿（小学生対象）（6名）
- ・なし（6名）
- ・学校へ行きにくい子どもたち（市青少年支援センター）への自立支援活動
（学習支援他）（4名）
- ・ともだち活動（2名）
- ・小学生を対象としたキャンプ（サマースクール）（1名）
- ・広島県BBS連盟発足50周年記念大会（1名）
- ・小学校の授業時間を頂いて勉強をおしえたり、レクなどをする活動（1名）

○その他記入のコメント

- ・子どもたち・非行少年と会話やレクを通しての関わりが楽しい、または勉強になる。
- ・子ども・少年たちの笑顔が自分の行動力になっている。
- ・子どもたちの成長を感じることができてうれしい。
- ・心を閉ざした少年との関わりを続ける中で、少しずつ心を開いてくれることがうれしい。
- ・他地区の仲間との出会いで、視野が広がった。
- ・BBSに入って、今まで経験していないことをたくさん経験している。
- ・BBSをもっと広めたい

【分析】

◎「社会人になって、BBS活動を続けようと思うか」について

会によってバラつきがあるが、学生の先輩の姿勢や行動によって、変わるのかもしれない。また、周りに“学生～社会人会員モデル”が、いるかないかによっても変化あるかもしれない。

「はい」と答えた人が、7割と極めて高い会がある。その会は、先輩後輩・同級生同士とのつながり等、環境が良いと推察する。

社会人先輩が卒業しても受け入れる姿勢を常に見せていると、続ける会員がずいぶん増えるのではないかと推察する。(住所が変わる場合は別)

1年以上の会員で、社会人になっての再入会が億劫の人がわずかにいるが、現実的に再入会ができるかを考え、「NO」の答えを出したものと思う。

「はい」の割合が、1年未満会員より、1年以上会員の方が高いことについて、これからは期待したい。

◎「BBS活動が、社会人になって役立つと思うか」について

「わからない」の割合が、1年未満の会員より1年以上の会員が少ない会と、逆に1年以上の会員が「わからない」の多い会がある。活動等のある程度経験し、会員の継続を考え直す人がいると推察する。

◎「BBS運動を説明できるか」について

1年未満会員の「はい」の割合が高い会は、新人研修がしっかりと行われていると推察する。

全体で約8割の人が「はい」と答えている。この数字はとても心強い。BBS運動を広める潜在的な力になると思う。

【アンケートを実施して】

予想以上に、「社会人になっても活動を続けようと思う」と答えた人が多かった(23%)のには驚きを隠せない。ひと工夫すれば、続けてくれる会員は増えるのではないかと思う。

全国的にどんな結果になるかは調査を実施していないのでわからないが、それほど変わらないと思いたい。

このアンケート結果について、できればそれぞれの会でいろいろと考えて頂けたら嬉しく思う。

中国地方において、学生～社会人会員の方は、地方また県の役員になっている人が半分以上。また地方を越えて会員を続けている人は全員(2名)、地方また県の役員をやっており、その地域のBBSをリードする重要な人材になっていると言ってもいいのではないか。

次のアンケートの予定はないが、もし行う場合は、出身都道府県・就職予定地等を加え、質問内容をよくよく考えて、より答えやすいものを作りたいと思う。

学生会員に前触れもなくお願いしたアンケートだったが、前向きに協力してもらい、短い期間でアンケートを回収できた。中国地方の学生会員に感謝申し上げたい。

(別紙)

記入日： 年 月 日

学生BBS会員へのアンケート

BBS運動・活動の中心は、学生のみなさんです。そこで、BBSについてどんな事を思っているか知りたく、みなさんに伺います。名前は書かなくていいので正直にお答えいただけたらうれしいです。

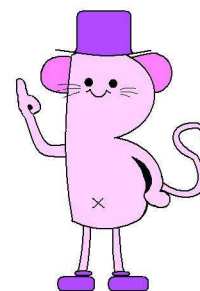
中国地方BBS連盟事務局 こやまん

入会年月： 年 月
または会員歴： 年 月
性別： 女・男

- 活動を通して、社会人になって役に立つと思う事がありますか？
A ある B ない C まだわからない

- 社会人になっても、BBSを続けようと思えますか？
A はい B いいえ

- Bを選択の理由
- 1 「大学サークル」として参加しているから
 - 2 学生時代でもう十分だから
 - 3 社会人になる前にボランティアを経験したかったから
 - 4 就職などで住所が変わって、入り直すのがおっくうだから
 - 5 その他 ()



- 「BBS運動」について、他の人へ説明できそうですか？
A はい B いいえ

- あなたにとって、心に残る活動はありましたか？(無い方はなしと書いてください)
(どんな活動か、また何が心に残っていますか？)

ご協力、ありがとうございました m(_)_m